

みんなとともに笑顔いっぱい — 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 —



みんなとともに



朝、昇降口に入る前に、「体温」と「体調」を聞いています。家では測っていても、自分で言えない子もいます。検温をしたらお子さんにも「値」を伝えてください。「体調」は子どもの答え方がそれぞれ個性があって面白いので、漠然と「体調は？」と聞いていました。ただ時間もかかることから、「咳、鼻水、のどの痛み」に絞ろうかなと考えています。また、体調不良の際は自宅での療養をお願いします。



「第2回学校評価アンケート」について その2

紙面の都合で要望等の全てにお答えすることはできませんが、できる限りの回答をさせていただきます。

- Q1 「学校だより」が「メール配信」になったが、スマホでは字が小さく読みにくい。「紙面のよさ」もあるのではないかな。
- Q2 学校に提出する日々のプリント類も「ネット配信化」を進めてほしい。学校も家庭も互いの負担軽減につながるのではないかな。
- Q3 準備物等は前日ではなく、前もっての連絡がほしい。口頭での説明のため、用途が分からず、混乱したことがある。
- Q4 「オンライン授業参観」の音声聞きづらかった。細かな操作説明がなく、戸惑いを感じた。

→ 「ネット社会」にあって、そこに適応できていないのが「学校」であるのかもしれませんが、これまでも「安全安心メール」を活用してはきましたが、「緊急的な使用」に限られ、「日常的な使用」には至っていません。「学校だより」の配信は、その「日常的な使用」の一つの試みでもあります。ご意見にあるような「添付ファイル機能」や「アンケート機能」などの活用については、今後の課題とさせていただきます。

また、遅ればせながら、校舎内の「ネット環境」が整い、どの教室からも「タブレット端末」を使い、ネットを利用することができるようになりました。学校にとっては、「デジタル活用元年」とも言える大きな変化です。「オンライン」を使った様々な試みも行っていますが、「効果」とともに「限界」も感じています。ご意見を今後に生かしていきます。

- Q5 子どもの友人関係でのトラブルがある。学校で解決されずに、家に帰ってから話をする 경우가あり、残念に感じる。

→ 学校で解決すべきところを申し訳ありません。なお、家でお子さんが話をするということは、「良好な親子関係を築いている」ことの証でもあります。お子さんが友人関係の悩みなどを話したときは、すぐに担任までお知らせください。解決に向けて対応します。

これまでも、「いじめ」の訴えがあったときは、「いじめ案件」として市教育委員会へ報告するとともにその解決にあたってきました。私は、学校は「人間関係のつづみ」ですから「何も無い」とは考えていません。「あること」を前提に、そのことを契機として、子どもも、教師も（校長も）、親も、それぞれに「成長する」ことが大切であると考えます。そのことを通して「みんなの笑顔いっぱい」につなげていきます。

- Q6 「ランドセルの重さ」による体への負担が心配である。「置き勉」はできないのだろうか。

→ 3年前に、文部科学省が、いわゆる「置き勉」を認めるよう通知を出し、本校でも内容の確認をしています。今年度も「学期末」の持ち帰りについては「最小限にする」よう確認をしてきました。以前もご意見をいただいた内容ですので、「日々の置き勉」についても再度の確認をしていきます。

- Q7 不審者情報の際「教師の見守りのもと下校」とあったが、少ない教職員で十分な見守りができたのか。

→ 登下校については「保護者と地域の責任で」と考えています。ご指摘のように、教職員で全てをカバーすることには無理があります。不審者情報等があったときには、「自宅の前での見守り活動」などの協力をいただきますと、ありがたく思います。

- Q8 「学習発表会」が見たかった。また、12月の授業参観では「学習発表会」風を期待していた。

- Q9 「文集 すかわ」がなくなるのは、残念である。

- Q10 「スポ少」が清明小にもあるとよかった。

→ それぞれの思いを受け止めさせていただきました。「コロナ禍」や「少子化」の影響が本校にも押し寄せている昨今ですが、繰り返しになりますが、「みんなの笑顔いっぱい」に向けて今後も尽力していきます。